

交付金交付申請書

令和4年4月22日

(宛先)
秋田市 市長

申請者

記入する際のポイントや注
意点については、手引きの
4ページをご覧ください！

〒010-8560
住 所 秋田市山王一丁目1番1号

団 体 名 秋田市若者活性化チーム

代表者名 代表 秋田 協働 **！ポイント**

連絡先 TEL 000-0000-000

日中連絡が取れる
電話番号か

秋田市地域づくり交付金交付申請書

令和4年度において、次のとおり交付金の交付を受けたいので、秋田市地域づくり
交付金交付要綱第6条の規定に基づき、申請します。

！ポイント

1 事業の名称 若者×地域づくり交流会 **事業内容をイメージできる名称か**

2 交付金の使用目的 「若者による魅力ある地域づくりの実現」等を目的とした
！ポイント 使用目的は具体的か 交流会を実施する際に必要となる印刷製本費など

3 交付金申請額 69,000 円 **！ポイント** 市民公益活動枠 5万円以上 50万円以下
学生まちづくり枠 5万円以上 10万円以下
地域づくり交付金は千円未満を切り捨てしているか

4 事業の実施期間 令和4年5月1日～令和5年2月15日
！ポイント 事業の準備期間は含まれているか

5 申請団体の概要 実施期間は令和4年4月1日から令和5年3月31日までの期日であるか

(1) 団体の活動内容や目的

- ・令和2年4月に団体を結成した。
- ・秋田市内において、様々な地域行事や伝統行事などを盛り上げ、継承していくことを目的に、地域や世代の枠にとらわれずに交流会等を行う。

(2) 団体構成員 **！ポイント** 団体の規模（構成員数）や特性（有資格者）が記載されているか

- ・20代から70代までの幅広い年代の会員が30人いる。
- ・大学生や地域の伝統行事の運営経験者などが多数在籍している。

(3) これまでの活動実績 **！ポイント** これまでどのような活動に取り組んできたのか記載されているか

- ・団体結成以降、年に2回、地域交流イベントを実施した。

昨年度実績：令和〇年〇月〇日実施、参加人数 100人以上

- ・各地域行事へ10回以上参加し、地域行事の運営方法について学ぶ。

実績 通算12回（令和2年5回、令和3年7回）

- ・SNSを通じた情報発信を行っており、総フォロワー数は1,000を超えている。

6 実施事業の概要

(1) 地域課題

これまで実施した交流会での意見やアンケート調査を通じて、若者側への地域づくりに関する情報不足や地域団体の人材不足といった課題があると認識した。

事業目的

- ・若者の地域づくりへの参画機会の創出
- ・若者による魅力ある地域づくりの実現
- ・地域づくりにおける人材不足の解消

！ポイント

公益性の高い課題が設定されているか
地域課題を的確に把握しているか
課題解決のアプローチは適切か
事業目的が記載されているか

以上を目的に若者と地域づくりをつなぐ交流会を実施する。

(2) 事業内容

【交流会】

！ポイント

事業内容はわかりやすく、具体的に記載されているか（実施時期、場所、対象者、具体的内容）
申請団体の特性が活かされているか
実現可能な内容となっているか

ア 実施時期

6月もしくは7月いずれかの日に1回

イ 実施場所

中央市民サービスセンター洋室4

ウ 対象者（参加者）

参加者はSNSやチラシ等で募集

- ・地域づくり実践者3人（団体）
- ・若者（大学生など）10人、地域づくりに興味のある方（市内全域）10人

エ 具体的な内容（事業目的を達成するための手法、課題解決の手法）

- ・地域づくり実践者が、それぞれ実践している地域づくりの内容についてPRする。交流会後に実施を予定している活動とし、本交流会の参加者がその活動に関われるような工夫をすることとする。
- ・参加者はPR内容を踏まえ、自身が興味のある活動に参加することとする。

【交流会終了後】

- ・交流会後も参加者同士のつながりが深まるよう、助言や連絡調整等を行う。
- ・交流会で出来たつながりや実践された地域づくりの内容（事例や手法）を、SNSやリーフレットで発信していく。

7 実施事業のアピールポイント等

事業の効果が広く地域や市民に波及する内容となっているか
事業の継続性や発展性について記載されているか

！ポイント

(1) 公益性

- ・各自治体で、若者の地域活性化に関する取組を支援する事業や、地域の担い手や地域活性化を目的とした人材派遣・育成に関する事業などが行われており、本交付金事業は秋田市内でのそのような事業の一つとなる。
- ・事業の対象を、特定の地域や大学に限定することなく、全域的に事業を実施する。また、交流会実施後に活動を実践したり、事例や手法、成果を広く発信したりすることで、事業の波及効果を高める。

(2) 事業効果

- ・交流会を通じて、若者は地域づくりの手法を学び、実践の機会を得る。
- ・地域は若者のアイデアを取り入れ、人材育成の機会を得る。

(3) 継続性や発展性

- ・次年度以降は、今回出来たつながり等を継続できるよう支援していく。
- ・若者が地域づくりに参画するための事例や手法を積み重ねていき、それらを秋田市内の各地域づくりに広げていく。

8 交付金概算払の申請（※必要に応じ記入してください。）

(1) 申請理由

事業実施にあたり、周知に必要なチラシの作成等にかかる支払いに必要なため

(2) 概算払申請予定額 69,000円

！ポイント

概算払申請の理由が適切か
申請予定額に誤りがないか

※① 5、6、7の事項については、別途資料（パンフレット）に添付することにより、記載に替えることができます。

※② 団体の規約および名簿を添付してください。